

情報戦略  
フォーラム  
2018

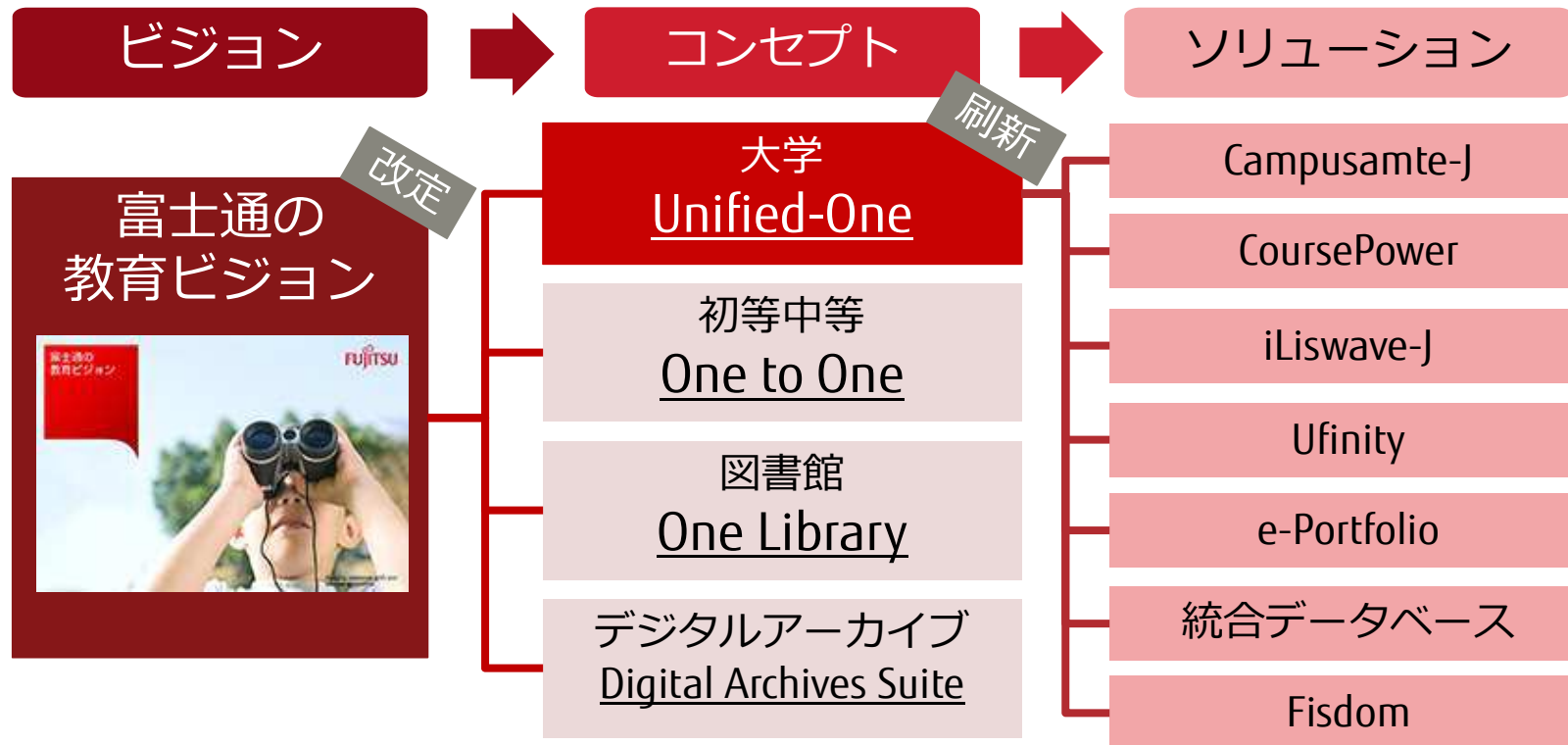
# 富士通が考える これからの大学ICT

文教・地域ソリューション事業本部 第一ソリューション事業部 第三ソリューション部  
島田 昌紘

# ビジョン & コンセプト & ソリューション




富士通の文教ビジョンと、そのビジョンを実現するコンセプト&ソリューション



富士通の  
教育ビジョン  
2018

FUJITSU

富士通の教育ビジョン 

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/vision/>

shaping tomorrow with you  
社会とお客様の豊かな未来のために

# 予測のつかない社会で変化に立ち向かう



## 「2025年、私たちはどんなふうに働いているだろうか」

ロンドン・ビジネススクール リンダ・グラットン著『ワーク・シフト』より  
リンダ・グラットン教授が著書の中で述べているように、グローバル化や、エネルギー・環境問題の深刻化、技術の進展などが社会を大きく変えつつあります。

インターネットの進展とボーダレス化が、組織を越えた個人の力の発揮や、共通の関心を持つ人々との自由なつながりを促します。また身のまわりにある様々なモノがインターネットにつながり、そこで生み出される膨大な情報が、新しい価値を次々と生み出します。

変化はとどまることなく急速に進み、将来の社会は今の延長線上にはありません。**人は予測のつかない社会で変化に立ち向かい、新たな解を見出して、未来を築きあげていかななくてはなりません。**

そのためには物事の本質をとらえて理解すること、その理解を自分の力として実践すること、そして多様な人と議論をしながら協働することが必要です。これらをたえず続けることにより、今までにない新しい価値を創造し、よりよい社会を実現することができます。



**大学は変革を先導し、地域・社会からの期待に答えていくことが求められる**

# 求められる大学の役割

## 大学の目指すべき方向性

補助金の削減等、従来通りの資金確保が困難に。強みを発揮できる分野へ資金を集中、大学間連携・統廃合、学部譲渡等の組織的な取り組みが必要に。

### 強みに特化した教育・研究・経営

教育・研究資金の確保に向けた収益の多様化と集中投資

### 教育の質向上

学生に最大限の成長を促す学びの機会の提供

18歳人口の減少、大学無償化等により、入学者の質の確保がより困難になり、入学から卒業までの伸び幅が今まで以上に重要に。

### 地域、社会への貢献

教育・研究と産業振興・社会貢献の両立

地域経済の停滞、低成長の危惧に対して、学際、実践的な教育、研究への取組みを強化し、地域の活性化を促すことが求められる。

これらの課題にスピード感を持って対応していくことが求められる

学内だけでなく、学外のリソース活用も視野に入れた大学価値向上戦略が必要



# 富士通が考えるこれからの大学ICT



①学内の知を集約  
**Unified-One コンセプト**

②学びをオープンにつなぐ  
**Unified-One for NEXT**

提供価値

ICT運用コスト最適化

セキュリティ向上



経営の可視化(大学IR)



教育手法の共有

地域・企業・大学間連携

スキルの可視化

パーソナライズ教育



提供サービス

Unified-One  
統合ID管理

アカデミッククラウド

Unified-One  
統合DB

Field Innovator

**Open Connected University Platform**

AI

IoT

モバイル

アナリティクス

セキュリティ

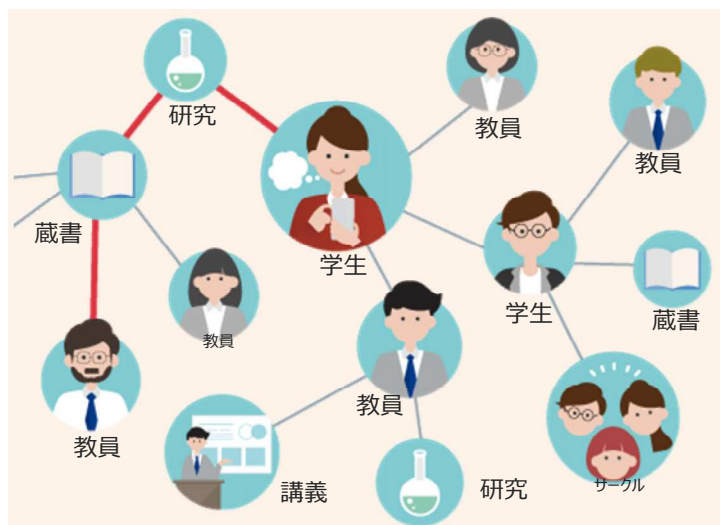
ブロックチェーン

ICTを活用することで学びのオープンな“つながり”を実現、新たな価値の創造へ

# “つながり”による新たな価値の例 1



## 学内知の徹底活用で**学びの機会を逃さない!**



### 課題 学内知の有効活用

縦割り組織により学内知が有効活用されない。学問分野を超えた**横断的な知**との出会いが**遮断**されている。

### 解決策 気づきの機会提供

学生の興味と学内知を視覚的につなぐことで、「**教員とのリアルな出会いの場**」や「**新たな学びの視点**」を提供し、学生の気づきを引き出したり、主体的な学びの機会を創出。

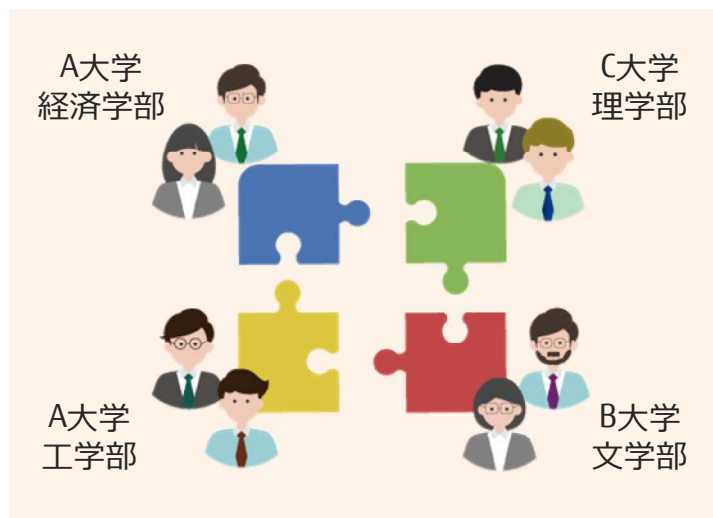
活用  
技術

Human Centric AI Zinrai, 知識情報構造化API, 自然文解析API, ナレッジグラフ技術など

# “つながり”による新たな価値の例 2



## 柔軟な大学間連携で教育リソースの最適化



### 課題 教育提供コストの削減

学生の多様化により、リメディアル教育や基礎教育への対応が増加、強みのある教育分野に注力できない。

### 解決策 大学間連携の容易化

柔軟な大学間データ連携システムを活用することで、他大学との単位互換や共同開講が容易に実現。教育提供コストを削減し自校の強みのある教育・研究へリソースをシフト、強みのある分野を活かした社会人・企業向け教育の拡充も。

活用  
技術

大学向けAPIセット、API Management、ブロックチェーンなど

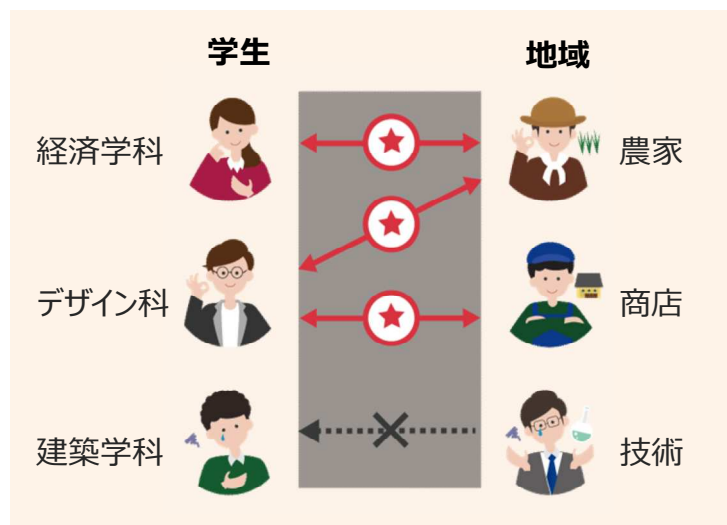


# “つながり”による新たな価値の例 3



地域連携

## 人材マッチングで地域連携機能を高度化



### 課題 多様化する地域課題への対応

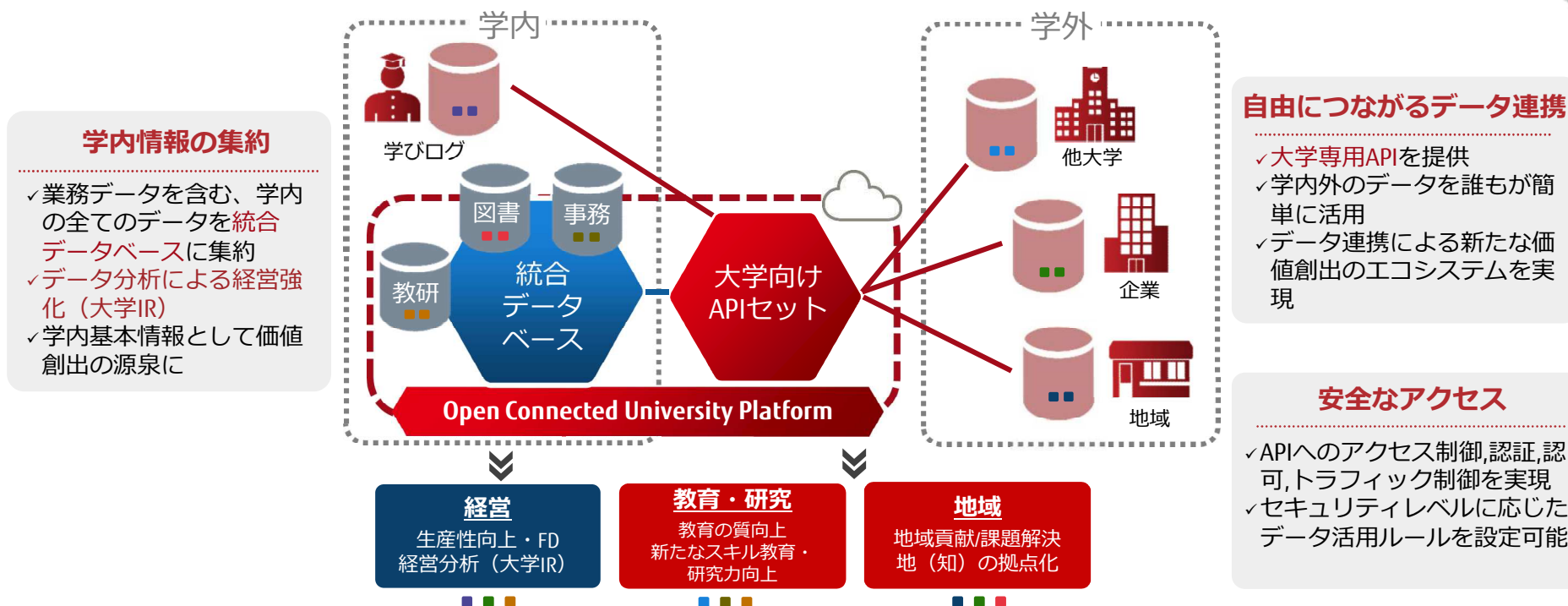
マンパワーとしての学生派遣、商店街活性化のノウハウ提供、地域企業への技術協力など、**地域課題解決ニーズは多様化**しているが十分に対応しきれていない。

### 解決策 地域連携情報のマッチング

自治体やNPOの持つ地域課題情報と学内情報をつなぐことで、**ニーズに応じた地域連携を実現**。学生に体験学習の機会を提供し、専門知識人材と補助金をマッチングするなど、データドリブンの地域連携コーディネートを実現。

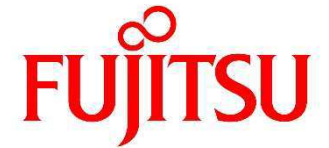
活用技術 Human Centric AI Zinrai、人材マッチングAPI、ブロックチェーンなど

# Open Connected University Platform



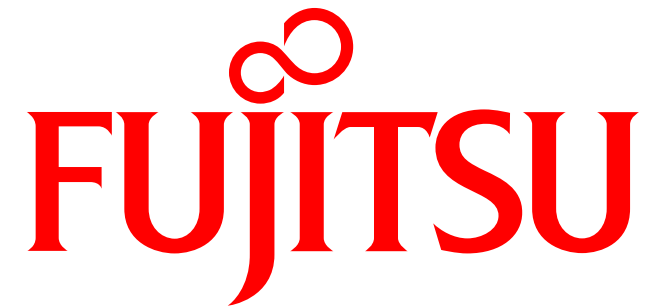
大学中心の"つながる"エコシステムを実現する、オープン&セキュアなデータ活用基盤

新たな教育サービスのスピーディーな立ち上げが可能に、変化の時代を先導する大学像を実現



## Human Centric Innovation Co-Creation for Success

富士通は、学びを通して一人ひとりが夢に挑戦できる未来を、みなさまとともに創っていきたいと考えています。



shaping tomorrow with you